



香風



令和8年
2月27日 第13号
編集責任
校長 古川 志乃

[南中学校 学校教育目標]

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

[中期的な教育目標]

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成

[本年度の重点目標]：

「なかまのことを考え、支え合う集団をめざし行動する生徒の育成」→「考動」



Times fly!! 早いもので、本年度も残すところ一か月となりました。3年生の廊下には、1人一枚ずつ手掛けた卒業までのカウントダウンカレンダーが貼ってありますが、3年生が登校する日は残り10日を切ってしまいました。私は、そのカレンダーを見るたびに、3年生が南中学校を盛り立てようと、輝いていた様々な場面を思い出し、不謹慎ながらも、「え～! 行かないで! まだ、卒業しないで～!」と、呟いてしまっています。

3月10日の公立高校入試に向けて、ラストスパート! 自分の進路を切り拓こうと、3年生全員が選抜試験に挑む人たちと心を一つに頑張っています。私も面接の練習等で関わり、自分の思いを相手に伝えるためのアドバイス等を行いました。You can do it!! Do your best!! 自分を信じ、可能性を伸ばしてほしいと願っています。

CONGRATULATIONS

- 八女地区新年揮毫会 ※敬称略
- 【天賞】1年 2年 3年
 - 【地賞】3年
 - 【人賞】1年 2年 3年
 - 【秀逸】2年 3年
 - 【入選】1年 2年 3年



八女市人権作文集掲載 ※敬称略
3年 「知ることの大切さ」

ボランティアに参加し、熊本県の国立療養所菊池恵楓園（ハンセン病療養所）を訪れ、ハンセン病について学んだ経験について書いた作文が八女市人権作文集に掲載されました。「ハンセン病に限らず、理由が何であっても差別することは絶対にいけない。」「正しく知らないことが、ときに誰かを傷つけてしまうことにつながる。」「学んだことを自分だけにとどめず、周りの人に伝えていけるようになりたい。」と思いを綴っています。

世界子ども愛樹祭コンクール ※敬称略
【絵画の部】朝日新聞社賞 (2年) 【木はがきの部】八女市教育委員会教育長賞 (1年)

3年 性教育「命の大切さ こころとからだ」の話 2月17日(火)



久留米大学病院 総合周産期母子医療センターの助産師 さん に来校していただき、助産師の仕事について、命の大切さ、デートDVの問題などについて、お話をいただきました。

[生徒感想より]

- ・命を授かることは奇跡で、そんな奇跡の命を雑に扱ったり、暴言でその命を傷つけたりすることはダメだと思った。
- ・自分たちが生まれてくることは奇跡で、このように生活できることも当たり前じゃないということが分かったから、毎日を大事にして生活していきたいと思いました。友達とか、将来自分のパートナーになる人に対して、自分勝手な行動や言動をせず、相手を尊重しながら関わっていきたいと思いました。
- ・マタニティマークについて知れた。妊婦さんがいたら、席をゆずるなどの配慮をしたいと思いました。

読書ボランティアさんによる「読み語り」

2/18(水) 実施

本年度最後の「読み語り」。前のめりになって話を聞く子どももいて、「絵本っていいなあ」「本は心を豊かにしてくれるなあ」と感じさせてくれる素敵な時間でした。地域学校協働活動の支援事業の一つとして実施していますが、本年度9回来校していただきました。ありがとうございました。それぞれのクラスで、みんなで書き綴った「感謝の手紙」を渡し、代表がお礼の言葉を述べました。

【語り手さん】 「もうじきたべられるぼく」 さん、「子どもたちの遺言」 さん、「クナウとひばり」 さん、「退屈をあげる」 さん、「100万回生きたねこ」 さん、「おにたのぼうし」 さん、「タンタンタンゴはパパふたり」 さん

人権学習

本校では、部落差別をはじめとする様々な人権問題への科学的な認識を深め、差別のない社会を築く意識を持たせるために、さらには、あらゆる差別の解消を目指す実践力を養うために、学年の発達段階に応じ、系統的・計画的に人権学習を行っています。2月の人権学習は一年間のまとめとした学習を実施しました。

1年	「タヤけが美しい」	部落差別によって文字を奪われた人の生き方から「幸せに生きる権利」を考える。
2年	「解放令」	「解放令」が出されても差別が続いた理由について考え、差別をなくすために自分がやるべきことについて考える。
3年	「ヒデさんの結婚」	差別の現実を知り、差別解消に向けて自分にできることについて考える。

【生徒の感想より】 ※一部抜粋

- ・『「文字」は生活や心を豊かにする』『文字を識ることで外の風景がきれいに見え、やること全てが楽しくなる』とういうことがわかった。また、この授業を受けて、文字を書けたり、読めたりするのはあたりまえじゃないということもわかった。勉強できる環境がつくれるまでにいろんな人の努力、協力があつたからだぞ知り、勉強はとても大切だと思う。だから、豊かな人生にするためにも、ほくも勉強をがんばらなければならないと思う。(1年 さん)
- ・差別がなくなる背景には、『偏見』があることがよく分かった。差別をなくすためには、人権や差別問題について、「正しく学び続け、正しく行動できる」ようにすることが大切だと思った。(2年 さん)
- ・差別をなくすためには、その人のことを知り、お互いの違うところを認め合ったり、足りないところを補い合ったり、協力して生活することが大事だと、この授業を通して分かった。このような人権学習を通して、「差別をしないためにどうすべきか？」を考えることが大切だと思った。(2年 さん)
- ・今日の学習で、知らないうちに差別しているということを知り、身近に感じて、とても怖いと思った。そして、しっかり知識をつけなければならないと思った。義務教育9年間の学習を終えるが、最初は意味ないやんとか思ってたけど、最後になるにつれて、しっかり学ぶ必要があると思った。一人の人間として、相手のことを受け入れ、お互いに助け合って、支え合う生き方をしていきたい。(3年 さん)
- ・今日の授業でも出てきた「自分は良いけど、周りが良くないって言うから。」といった考えを持っていると、一生差別はなくなるから、自分の考えを持ち、周りに流されずに正しいことをする勇気がとても必要だと思う。身近なところから意識して生活していきたい。(3年 さん)



筑後地区新人駅伝大会 1月14日(水) 大牟田市諏訪公園にて



筑後地区中学校体育連盟新人駅伝競技大会に1・2年生のチームで参加しました！先輩方が築いてくださった南中駅伝部の偉業を受け継ぎたいと、冬場も必死で練習してきました。残念ながら県大会出場は叶いませんでしたが、この悔しさをこれからの練習にぶつけ、来年度の駅伝大会に挑んでほしいと思います。

2月23日、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが閉会しましたが、今回のオリンピックでも、様々なドラマが繰り広げられました。困難を乗り越え、闘う姿はカッコいい！逆境を乗り越え、仲間と支え合う姿は美しい！自分の目標を掲げ、その目標達成のために必死で頑張る姿は、多くの人に感動を与えます。南中のみなさんも、それぞれに目標を立て、達成のために突き進んでほしいと願います。

【男子の部】 1区 2,962km 2～6区 3,062km ※敬称略

- 1区 (2年)、2区 (1年)、
- 3区 (2年)[区間4位]、
- 4区 (2年)、5区 (2年)、
- 6区 (1年)[区間2位 大会新記録]

【女子の部】 1区 1,968km
2～5区 2,058km

- 1区 (1年)、2区 (1年)、
- 3区 (1年)、4区 (2年)、
- 5区 (1年)[区間5位]

